

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	工業英語		
科目基礎情報							
科目番号	0087	科目区分	専門 / 必修				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1				
開設学科	電気電子工学科	対象学年	5				
開設期	後期	週時間数	1				
教科書/教材	Science Matters, DataBase4500						
担当教員	佐藤 淳						
到達目標							
現代においてコミュニケーションツールとしての英語は必須である。総合的な英語の技能（読む、書く、聞く、話す）を身につけ、将来専門分野での研究や、社会で必要とされる基本的な能力を身につけることをめざす。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	科学分野に関する簡単な文章を読み内容を理解できる。	科学分野に関する簡単な文章を読みだいたい理解できる。					
評価項目2	科学分野に関する簡単な文を聞き内容を正確に理解できる。	科学分野に関する簡単な文を聞きだいたい理解できる。					
評価項目3	基礎的な語彙を正確に把握している。	基礎的な語彙をだいたい把握している。					
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海外の教科書およびCAIソフトウェアを使用して理工学分野の基礎用語を学び、国際会議やワークショップの事例を基に英語活用能力を向上させる。						
授業の進め方・方法	ツールを活用して実務的な英語活用を促進し、複数の分野で使用される特有の英語表現についてオムニバスのに講義を実施する。						
注意点	BlackBoardを使用する。						
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	ツールの紹介				
		2週	国際会議、ワークショップの参加				
		3週	海外の教科書を使う（1）				
		4週	海外の教科書を使う（2）				
		5週	海外の教科書を使う（3）				
		6週	業界（半導体）の状況				
		7週	海外コンソーシアムの状況				
		8週	研究概要の作成				
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	0	60
専門的能力	40	0	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0